

西中だより

平成27年度 No.15
平成27年 9月25日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

&&& ふくしまデザインコンテスト2015に多数入選! &&&

- 可能性にチャレンジした生徒の努力に拍手を贈りたいと思います。また、生徒に挑戦の機会を与えてくれた小野塚先生に感謝いたします。惜しくも今回は入賞した生徒はいませんでした。それに近づく貴重な一歩を踏み出したと思います。これからも、新たな挑戦者が輩出してくることを期待します。

【入選者】<応募部門・氏名・学年> (敬称略)・ネイルデザイン:遠藤 香奈(3年),小林恵美奈(3年),伊藤 仮名(3年),・キャラクターイラスト:小林恵美奈(3年),二瓶 莉瑚(3年)

< 入選者の作品紹介 >



←伊藤仮名(3年)

「松岡あかし」

小林恵美奈(3年)→

「牡丹姫」



←二瓶 莉瑚(3年)

「Summer Fukushima」

←遠藤 香奈(3年)

←小林恵美奈(3年)

「フレッシュな果物たち」

#\$\$ 生徒会役員決まる! 各種大会で生徒が活躍! #\$\$

【新たに決まった生徒会役員の紹介】<役職・氏名・学年-組> (敬称略)

- ・会長:溝井元輝(2-3)・副会長:清水天斗(2-2),伊藤啓(1-3)・書記:遠藤涼(2-3),磯貝樹梨(1-2)
- ・会計:羽生亮太(2-1)・会計監査:齋藤茜(1-2)

- 新たな役員が決まりました。今後みんなでどのような西袋中学校の歴史を築き上げていくのか楽しみです。これまでは、3年生の背中を見ながら歩んできたと思います。今度は、1・2年生が中心となって全校生をリードしなければなりません。苦しいことや辛いことがあると思いますが、皆で力を合わせて頑張ってくれることを心から期待します。

◆◆◆ いのちの大切さを学ぶ授業 ◆◆◆

- 17日(木)に本校体育館で、交通事故で長女の愛さん(当時14歳)を亡くした岡崎照子さんを招いて、「私たちは皆愛されて生まれてきたたった一つの命」をテーマに講演会を開催しました。【以下、生徒の感想です。一部表現を変えてあります。】
- ・岡崎さんの講演を聞いて、私は生きることに感動を覚えました。生きているのが辛くなった時が何度もありました。でも、命は大切なのだと理解しました。
 - ・講演を聞いて私は亡くなってしまった人の分までしっかり生きていかなければならないと思いました。そして、自分の命をもっと大切にしなければならぬと改めて実感しました。



《 校長のつぶやき 》・・・“考えや意見をぶつけ合おう”～雪玉づくりの思い出～から・・・

- 雪深い新潟で育った私の幼い頃の遊びに「雪玉づくり」がありました。小指の爪ほどの石やコークスを新雪の上で転がし、徐々に大きくしていきます。卓球の球くらいの大きさになったら、長靴で体重を加えながら雪の上でさらに踏みつけるように転がします。この動作を「こねる」と言います。雪玉をこねて、こねて、軟式のボールくらいの大きさにします。ここまでくると、大人が上に乗っても壊れません。次に、互の雪玉をぶつけ合い、相手の雪玉を壊した方が勝ちという遊びです。
- 子ども心に、足で踏みつけながらこねた雪玉が、どうして氷の球のように硬くなるのか不思議でした。雪玉ができ時には、服に付いた雪と汗で全身びしょぬれでした。しかし、この約1時間の遊びは、寒さを気にしないで、夢中で取り組めた遊びの一つでした。
- たかが雪玉づくりでしたが、他にも様々な雪遊び(かまくら、雪合戦、雪の彫刻、滑り台づくり、など)から、貴重なことを学びました。雪玉も繰り返し転がすことで硬く(強く)なる。雪を踏みつけるような動作が、硬い雪玉を作る。自分の雪玉が、もろくも壊された時、相手に雪玉づくりの秘訣を教わり、更に硬い雪玉づくりに挑む。こうして、互いに競い合い、心身ともに強くなったように思います。

